

私が
みかんせいで
学んだ
すべて

～いかにして学び続け
福井大学医学部合格の
夢を叶えたのか～

渡邊 望生

想いは成る

意志あるところ道は開ける

すべての答えは自分の中にあります。

何をしたいのか、何をしていくのか、何になりたいのか、何を望むのか…
その「何」は自分の中であって、それを叶える方法は外側にあるかもしれませんが、
それを叶える「意志」は自分の中にしかありません。
スタートはいつだって自分の「意志」から生まれる。
「意志」を持つからこそ、開ける「道」が見えてきます。

すべての答えは自分の中にあります。

だから、世界の中心は自分なのです。

そして、望んだことを「実現」させていく為の行動を「努力」といいます。
努力とは想いを実現させるために使う時間と能力と労力と協力のことです。
自分の人生での役割を、自分が本気でやりたいことを知り実行するのです。

この努力は自分の為でもあり、その努力の成果を受け取る誰かの為にもなります。

この気持ちと行動が「自利利他」であり、
素直な心で行動することが「徳」となり、
徳の行動が一隅から世界を照らすのです。

勉強した内容そのものが実生活で役に立つこと、は確かに少ないかもしれませんが。

しかしながら目標を達成するために、

思考し、観察し、実行し、修正し、挫折し、復活し、継続し、質問し、想像し続けたことや
不安を抱え、不安を乗り越え、結果を受け入れ、結果を悔しがり、結果を求めて勉強したことが
自分のしたいことや望んだことを獲得できる人間としての基礎力になっていきます。

この女の子は、7年の時間をかけて自分の夢を叶えるスタートラインに立つ努力をし続けました。
決してラクな道のりではありません。

この文章の中に「2周」とか「3周」という言葉が出てきます。言葉にすれば単語1語です。

しかし、「2周」するのに、どれだけの時間が必要で、どれだけ苦悩して、どれだけ考え続けてきたのか。それを想像するだけでも、生半可の時間ではなかったとわかれると思います。

その姿を間近で見てきたみかんせい講師として、心から彼女を誇りに思います。

みかんせい福井啓学

教室長 中村 愛佳

みかんせい啓学代表 山田 恭睦



私は小学6年生のときに入塾しました。1月まではみかんせいの教材であるモカの木1年生から6年生の途中までを解きました。小6で計算もある程度できましたが、モカの木では計算に頼るのではなく、あえて図やイラストを使って解くことを心がけていたので、図解する力が身についたと思います。この力は、中学、高校と上がるにつれて難しく複雑になる問題にも活用できて、自分の頭の中を整理することに役立ちました。また、中学生になるまでにモカの木6年生を終わらせたという気持ちで解いていくうちに生まれてより一層力が入りました。国語では、要約をしました。字数制限がある中で、物語の必要な部分を抜き出してこれに苦学したのを今でも覚えています。しかし、教えるにしていくうちに、物語の重要な部分から自然と分かるようになり、起承転結を意識できるようになりました。要約が得意だと、中学、高校では、国語の速読や記述ができるだけでなく、英語の速読もできるようになります。私も模試で1度英語で要約をしました。みかんせいで行った要約のおかげで戸惑い、苦しむことが少なくなりました。



なに<要約する=>とバてきました。要約は小学生のうちには練習
 しておくと良いと思います。また、私は要約をしてい=>とて、
 星新一さんの本に興味を持ち、星新一さんの本を読むように
 なりました。今でも読み返しています。

小6の2月から中学の学習を始めました。中学の学習は
 私は、数・英・理・社の4教科をしていました。数・英はスライドを
 見せられ、まとめプリントの穴埋めをして、問題を解く、を単元=>と
 していました。理・社はルースリーフに自分用のまとめを作り、
 先生に覚えているかチェックしてもらって、それから問題を解くという流
 れをしていました。国語は、授業を聞いて話し合いに積極的に
 参加する、テスト前にワークを解いて、漢字は3周くらいして覚える
 という感じだったので、毎日学習は特に何もしていませんでした。
 数学はとにかく問題を解き続けた記憶があります。私は応用
 がババだったので、質と量という=>とで数をこなしていき、経験値
 を上げる=>とて、複雑な問題が出たときも、「あの問題に似てる
 かも」と解いて=>とのある問題から似たものを探して、解いてました。
 中学生の3数学で一番記憶に残っている=>とは、私が正負の数と



全く理解できなかったことです。学校での学習順番が教科書と違う
 こともあり、正負の数はちょうど夏休み中に学習していましたが、どうい
 ても^{2/2}理解できず、あんな先生や社長とおどしげ状態にさせました。
 夏休み中だったのでも1日中正負の数特訓をして、先生に何十回も
 説明してもらい、夏休み明けにはわかるようになりました。今では
 笑話ですが私は中学、高校の数学の中で一番の壁だったと思っています。
 英語はまとめて文法を1つ1つおさえつき、テスト前に教科書の
 単語を覚えていたのですが、単語はもと中学生のときに覚えておく
 べきだったと後悔しています。私は英語が中高ともに一番苦手で、
 中学校では何とか耐えていたのですが、高校ではレベルが急に上が
 ったため、ついていけなくなり死にました。英語は中学校でしっかり学習
 するべきだと思います。

理・社 は、いかに時間をかけず、短く、重要な部分をまとめられる
 だと思います。理科は左にキーワードと1文の説明、右にグラフや
 実験をまとめました。社会は左にキーワードと文の説明、右に資料
 や写真、出来事の流しをまとめました。私の場合、歴史は単語だけ
 ではよく流れが分らないと覚えにくかったのでも、右ページは大まかな



流れを書きこむようにしました。まとめノートは自分ひとりで
 やすい方法でまとめ、第2の教科書として使えるのがベスト
 です。私自身中3では教科書よりもまとめノートを見返すことが多
 かったです。授業で習ったことを付け加えたりできることもまとめノートの
 良い点です。まとめが終わったら、白紙テストをして問題を解き
 ました。白紙テストは苦手な人も多いですが一番大切な学習だと
 感じています。私はまとめが終わった後とテスト週間の際の2回
 白紙テストをするようにしていました。白紙で文字が写るぐらい情報
 を書き出したときに達成感を感じられ、忘れている部分を見直す
 ことで記憶の穴を無くすことができます。問題はIワークとシリウス
 を使いました。理社も数学と同じように、何度もIワークを解きました。
 どの教科もテスト前には、全2の問題を解いてしまえば、解く問題が無くなる
 のが一番良い状態だと思います。

中学での学習全体を通して良かったと感じることは2つあります。
 1つ目は学校の学習に合わせてばかり、まとめ→白紙テスト→問題という
 学びのサイクルを作れることです。学校に関係なく先に進めるのでは
 なく、授業の進行に合わせて学習ができるので、無理せずに自分のペース



でレポートと3つレポートが出来ます。2つ目は自分の今の
頑張りかまとめシートとして蓄積するつもりです。受験が近づ
中で不安になるのは当然の前ですが、不安に陥った時にまとめシ
トを見ると、自分は頑張ってきたから大丈夫と自信がきます。た
かからまとめシートは大切に作りやっ作ってほしいです。

受験期はとにかく問題です。周りの人の話を気にせず、数
こなして応用もつけてました。また細めにまとめシート見直し
頭の中を整理しました。みかんせいでは受験が近づいても穏
やかな雰囲気だったので、落ち着いて楽しく学習できました。その
かげで緊張もあまりせず、いつも通り入試に臨めました。

高校では中学とは違う復習メインでした。学習量も多く授業も
はせが、なので予習できる余裕がなかったです。また問題も学
校から配られたものしか解いていません。高2は学習量が教科が
多すぎて大変でしたが、どの教科も7-7を3周以上解いて何と
か乗り切りました。私は秋ごろに自分の将来の方向性が決まり、
推薦を受けたことと社長やあっぱ先生と話して思っていたので、理系に
進むと決まっていたので、高2の理科はどの教科でも午と取らず、全2の敵



科に全力を尽くしました。私は理系で物理・日本史を選択
 しました。物理は志望学部が大学において生物では受けること
 ができない場合があったため選びました。日本史は、私があり
 にも地理と世界史も学びました。物理は、私があつり
 きに、物理と化学とで選びました。今でもこの選択に満足しています。
 高2でも高1のときと同じように学習しました。数学はサード
 を2周して解いた後、1と2に印をつけてもう1度解き、テスト前は
 全体をもう1周しました。英語も授業で使ったフレーズを何周かして教科
 書にある単語を覚えられました。化学はセミナー、物理はリードを数学
 と同じように解きました。国語は漢字と古典単語を学びました。日本史
 はワークとノート、教科書を使い学びました。高2からは数・物・化
 中心で学習しました。また数物のスポンジノートがあるニール先生と
 寺川先生に疑問に思ったことや問題の分からない部分について
 分かるまで、と質問しました。特に物理は公式の導出も質問し
 て、深い理解をできるようにする応用も身につけ、記憶に残り
 ました。初めは苦手だった物理も先生方の助けで随分得意に
 なりました。2年では模試も増えましたが、学校のテストで



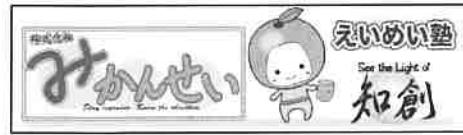
メインにしていたので、模試のための勉強は特にしていませんでした。

3年生になると、1学期は学校メイン、2学期は共通メインで学習しました。学校のワークに加えて、物理の工ッセン、化学の基礎問題精講、流氷が分かる日本史を使用しました。私は英語力を上げるために、受験が終わるまでの期間は朝にリスニングをする癖をつけました。休み時間は流氷が分かる日本史を読んでいました。2学期にもその習慣を続けて、みかんせいでの学習は学校の課題と共通メインでした。私の試験は共通が中心で、そのため共通に力を入れましたが、周囲の人は2次対策をしている人の方が多かったです。共通の対策は時間をほかの科目から問題を解きました。1学期までは点数が上がらず不安でしたが、共通対策をするようにして、2学期に点数が上がりました。数・情・日本史は安定して取れるようにして、そのほかみかんせいでは他の教科を中心に学習しました。心物は過去問を1日1つずつ解き、国・英は予想問題を1日1つずつ解きました。解いてく



うちで時間を使いながら学び、知識が増え、点数も安定し
 ました。其の前、模試では思い通りの結果が来ず、其の
 日も不安でした。社長やあひ先生、寺川先生が私を
 とも安心する言葉をかけて下さり、試験中は問題だけ
 に集中して落ちついて解くことができました。結果は、模試
 から50点以上あげる事ができました。思い通りに取れた
 教科もありましたが、結果には満足しています。その後は
 推薦のための面接準備をしながら、二次のための赤本を解き
 ました。私は、学校で面接準備、みかんせいでの二次対策と頭
 を切り出すように合計で学習する事にしました。赤本は
 時間をはかりながら解き、分からない問題は寺川先生と
 一緒に考えながらお話し合っていました。無事推薦で合
 格してため、二次対策は6年分の赤本をして終わりました。
 合格を報告した時に社長、あひ先生、寺川先生が自分の
 ことのように喜んでくれたことが本当に嬉しかったです。

私が7年間みかんせいでの学習して、学習し続けることの
 大切さを感じています。みかんせいでは生徒の自主性を大切に



しています。毎日来たり、先生に色々な問題をもらったりと学習
している人ではなければ満足にみかんせいを使っていることが
できないと思います。社長はよくみかんせいを使っているしてほしい
と言っていました。小、中、高とみかんせいでも自主的に学習し
続けたことで私は夢に近づくことが出来ました。今も
皆さんには、今以上に積極的にみかんせいでも学習して
ほしいです。先生が問題を出し尽くして困るくらい問題を
解いたり、みかんせいにも居ながら心配をかけるくらい
になるまで夢を叶えてほしいです。

社長やあの先生、ユード先生や寺川先生には本当に感謝して
います。ありがとうございました！

本気

本気でやれば
大抵のことはできる

本気でやれば
何でもおもしろい

本気でやっていると
誰かが助けてくれる



次は君のターンです。